

令和7

小 論 文 B

〔 180 点
50 分 〕

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、白紙を除いて、9ページあります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に
気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答は、〔令7 解答用紙〕に記述しなさい。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

問 1

特別支援学校が対象とする障害の種類（障害種）は、視覚・聴覚・知的・肢体・病弱の5つに大別される。さらに、「視覚」のように単一の障害種を対象とする学校（単一障害種）と、「視覚・知的」のように複数の障害種を対象とする学校がある。ここでは、前者の単一の障害種を対象とする学校のみを考える。

（1）図1は、障害種別に見た単一障害種の特別支援学校数と、単一障害種の特別支援学校全体に占める各障害種の学校数の割合を示したものである。これらを用いて、図1中の（a）に最も適する値を【選択肢】の中から一つ選んで解答せよ。[15 点]

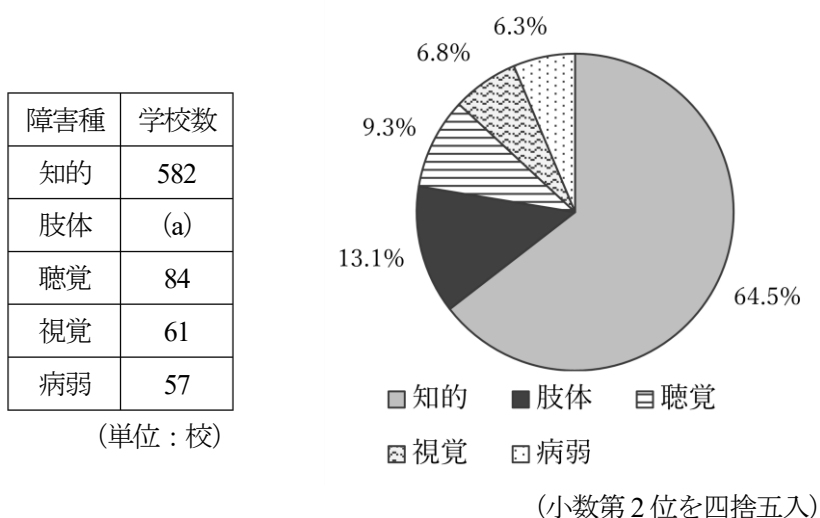


図1 障害種別に見た単一障害種の特別支援学校数と
各障害種の学校が全体に占める割合

【選択肢】	37	87	99	103	118	128	132	141	154	201
-------	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

[出典] 文部科学省編. “特別支援教育資料（令和4年度） 第1部 データ編”.
https://www.mext.go.jp/content/20240117-mxt_tokubetu01-000033566_2.pdf,
 (参照 2024-08-26) より作成

(2) 特別支援学校には、幼稚部、小学部、中学部、高等部という学部の区別がある(それぞれ、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に相当)。ただし、〇〇特別支援学校 幼稚部・小学部・中学部のように、一つの特別支援学校の中に一つ以上の学部が設置されるという形になっている。

図2は、単一障害種の特別支援学校の各学部数を、障害種別に示したグラフである。この図2をもとに、学部別に図1のような円グラフをつくったとき、各障害種の占める割合が図1と最も異なるグラフになると予想される学部を一つ答えよ。[20 点]

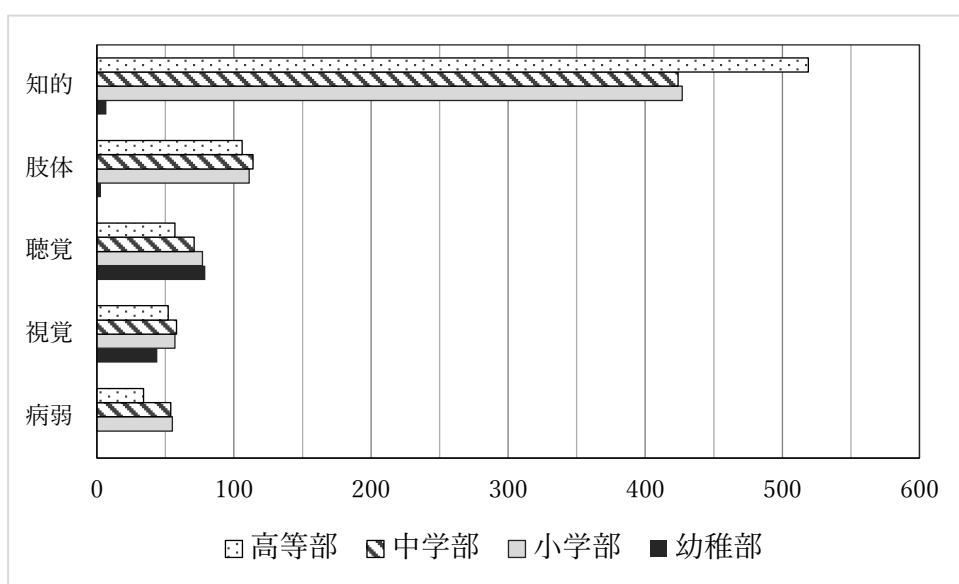


図2 障害種別に見た単一障害種の特別支援学校の学部数 (単位: 校)

[出典] 文部科学省編. “特別支援教育資料 (令和4年度) 第1部 データ編”.
https://www.mext.go.jp/content/20240117-mxt_tokubetu01-000033566_2.pdf,
 (参照 2024-08-26) より作成

問2

特別支援学校教諭の免許状は、特別支援教育領域（視覚、聴覚、知的、肢体、病弱の5領域）を定めて授与される。しかしながら、各教諭が所有する免許状の領域と、その教諭が在籍する特別支援学校の当該の障害種（領域）が一致するとは限らない。

図3は、特別支援学校の在籍校種の免許状保有率（在籍校の当該障害種の免許状を保有している教員の割合）の経年比較を示したものである。また表1は、障害種別に見た当該障害種の免許状保有者・保有率（令和5年度）を示したものである。

図3と表1にあるように、令和5年度の在籍校種の免許状保有率は全体で87.2%となっている。経年変化と障害種別の観点から、この数値に関して読み取れることを120字以内で3つ述べよ。[45点]

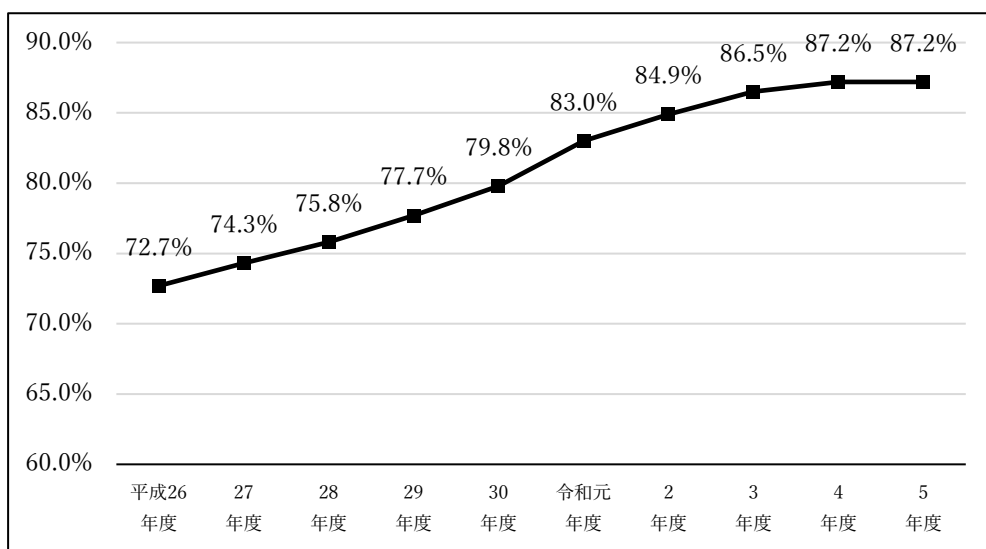


図3 在籍校種の免許状保有率の経年比較（すべての障害種を含む）

表1 障害種別に見た当該障害種の免許状保有者・保有率（令和5年度）

在籍校の 障害種	教員の 総数 (人)	当該障害種の免許状保有者・保有率					
		当該障害種		自立教科等 (当該障害種)		合計	
		人数 (人)	割合	人数 (人)	割合	人数 (人)	割合
視覚	2,478	1,138	45.9%	481	19.4%	1,619	65.3%
聴覚	3,666	2,189	59.7%	20	0.5%	2,209	60.3%
知的	50,444	45,503	90.2%	26	0.1%	45,529	90.3%
肢体	12,643	11,018	87.1%	150	1.2%	11,168	88.3%
病弱	2,700	2,208	81.8%	1	0.0%	2,209	81.8%
合計	71,931	62,056	86.3%	678	0.9%	62,734	87.2%

(注)

- ・当該障害種とは、ある教員が在籍する特別支援学校の障害種と、その教員が持つ免許状の領域（障害種）が一致していることを示している。
- ・「自立教科等」とは、理療（あん摩、マッサージ、指圧等）、理学療法、理容等を指す。表の「自立教科等（当該障害種）」は、当該障害種の「自立教科等」について授与された特別支援学校教諭免許状を有する教員を指している。

[出典] 文部科学省編，“令和5年度特別支援学校教員の特別支援学校 教諭等免許状保有状況等調査結果の概要”より一部抜粋，改変。

https://www.mext.go.jp/content/20240322-mxt_tokubetu01-000034858_1.pdf,
(参照 2024-09-12)。

問3

2011年に、全国の国公立特別支援学校970校を対象として、聴力検査・聴覚障害等の実態調査が行われた(664校からの回答、回収率68.5%)。表2は、単一障害種の特別支援学校における聴力検査の実施状況の結果である。

表2から、聴力検査の実施状況について読み取れることを、5つの障害種をいくつかに分けて80字以内で述べよ。[30点]

表2 単一障害種の特別支援学校における障害種別に見た
聴力検査の実施状況調査の結果(単位:校)

障害種	学校数	実施		実施率
		あり	なし	
視覚	49	44	5	89.8%
聴覚	66	66	0	100.0%
知的	304	258	46	84.9%
肢体	70	42	28	60.0%
病弱	35	23	12	65.7%

(注) 複数の障害種を対象とする特別支援学校もあるため、表2の学校数の合計は回答数の664校より少ない。

[出典]加藤哲則(2012). 特別支援学校の学校健康診断における聴力検査の実施と難聴児の在籍に関する調査 AUDIOLOGY JAPAN, 55 (5), pp. 345-346 より一部抜粋

問 4

(1) 聴覚障害児が特別支援学校に入学する際の基準は、学校教育法施行令第 22 条の 3 により、両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のものとされている。その聴力レベルの測定には、聴力図が用いられる。

次ページの図 4 は、聴覚障害児 A の聴力図である。次ページの【解説】を参考に図の内容を読み取り、聴覚障害児 A の右耳と左耳の聴力レベルをそれぞれ答えよ。

なお、聴力レベルの数値は、小数点第 2 位まで示すこと。 例：30. 25dB

[30 点]

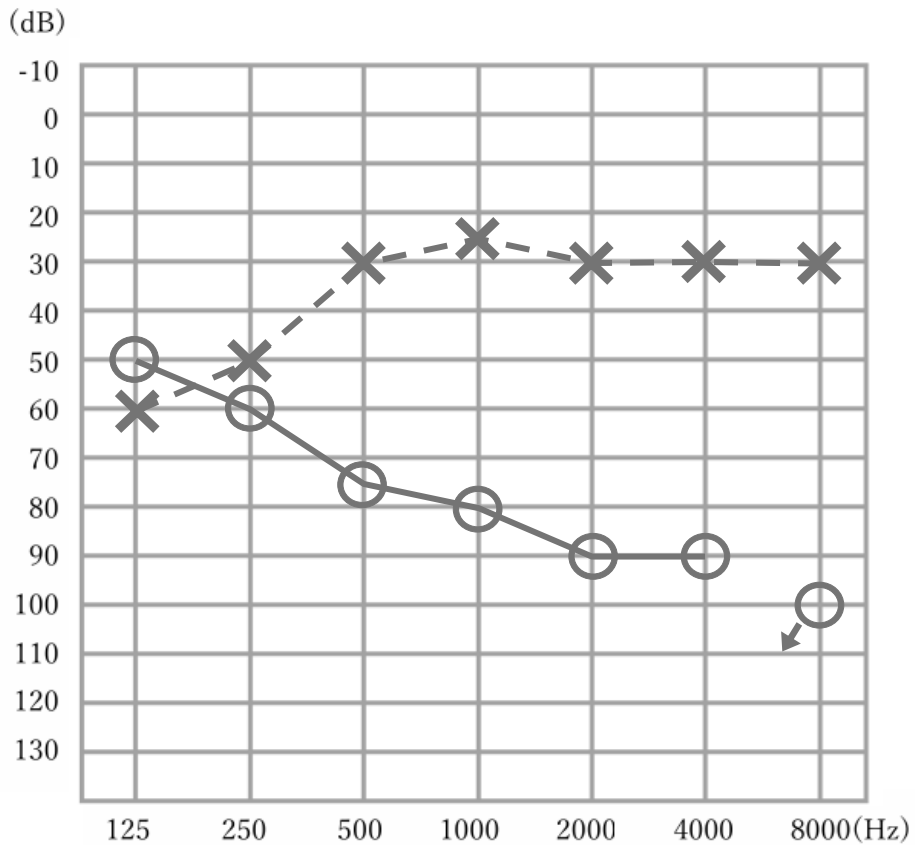


図4 聴覚障害児 A の聴力図

【解説】

- ・聴力レベルは、次の計算式で求める。

$$[500\text{Hz の dB} + (1000\text{Hz の dB} \times 2) + 2000\text{Hz の dB}] \div 4$$

- ・dB（デシベル）は音の強さを示し、数値が大きいほど強く、小さいほど弱い音。
- ・Hz（ヘルツ）は音の高さを示し、数値が大きいほど高く、小さいほど低い音。
- ・聴力図において、dBの数値は5単位で読み取る。例) 20dB → 25dB → 30dB
- ・図中の○は右耳、×は左耳の数値を示す。
- ・図中の ↘○は、「スケールアウト」を示す。スケールアウトとは、測定に用いる機器で出すことのできる最大の音でも反応がなかったことを意味する。

(2) 身体障害者手帳（聴覚障害）の等級判定は、聴力レベルの数値を基準に行われる。図5の聴力図をもつ聴覚障害児Bは、身体障害者手帳（聴覚障害）の何等級になるか。表3と前ページの【解説】を参照し、具体的な聴力レベルの数値と、どの基準に合致するかも明記しながら100字以内で説明せよ。[40点]

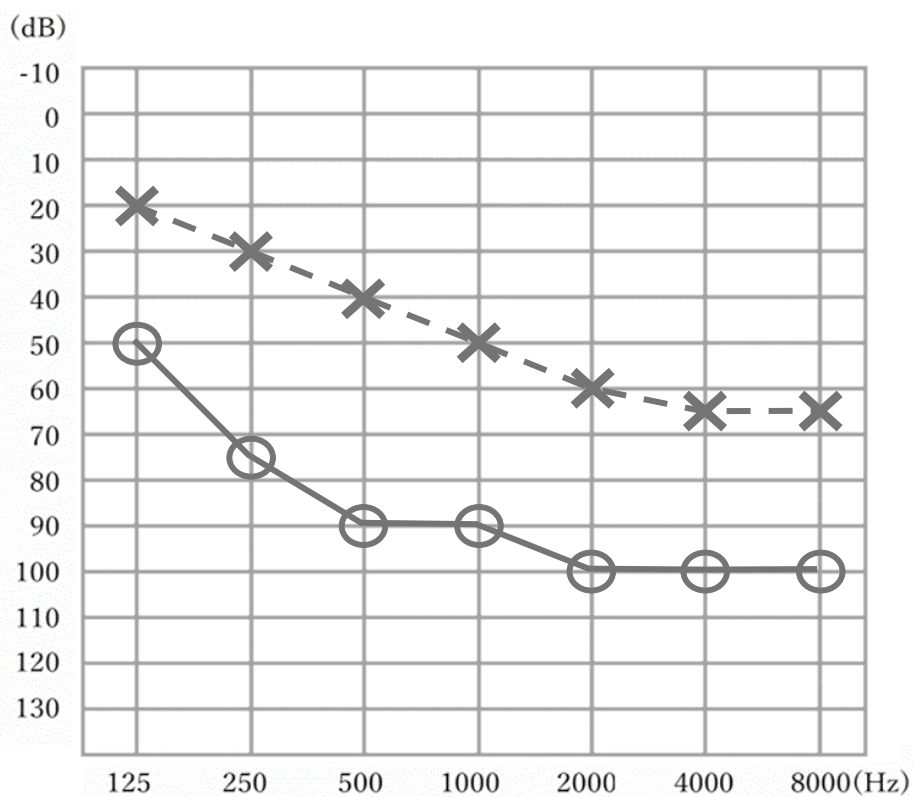


図5 聴覚障害児Bの聴力図

表3 身体障害者手帳（聴覚障害）の等級判定基準

級別	障害の程度
1 級	該当なし
2 級	両耳の聴力レベルがそれぞれ 100 デシベル以上のもの（両耳全ろう）
3 級	両耳の聴力レベルが 90 デシベル以上のもの （耳介に接しなければ大声語を理解し得ないもの）
4 級	1 両耳の聴力レベルがそれぞれ 80 デシベル以上のもの （耳介に接しなければ話声語を理解し得ないもの） 2 両耳による普通話声の最良の語音明瞭度が 50%以下のもの
5 級	該当なし
6 級	1 両耳の聴力レベルが 70 デシベル以上のもの （40cm 以上の距離で発声された会話語を理解し得ないもの） 2 一側耳の聴力レベルが 90 デシベル以上、他側耳の聴力レベルが 50 デシベル以上のもの

[出典] 厚生労働省編. “身体障害者障害程度等級表（身体障害者福祉法施行規則別表第5号）”より一部改変.

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/shougaisatechou/dl/toukyu.pdf>, (参照 2024-07-19).